

▶ 土砂災害の種類

土砂災害の特徴と前兆現象

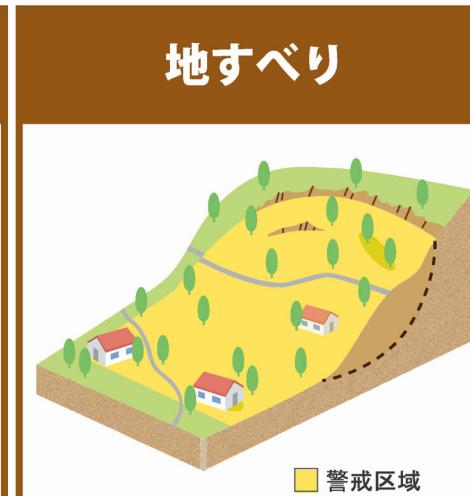
大雨などにより、地中にしみ込んだ水分が増加すると、大きな土砂災害につながることがあります。いつ、どこで、どの程度の規模で起こるのか、正確に予測することはできませんが、あらかじめ災害の仕組みを理解して、私たちの周りに起こりうる土砂災害に備えましょう。



大雨などによって地中に水分がしみ込み、地盤がゆるんで斜面が突然崩れ落ちます。



長引く雨や台風の集中豪雨で、谷や山にある土や石が一気に下流に向けて押し流されます。



緩やかな坂で、粘土のような滑りやすい土に雨がしみて、地面がゆっくり下方に動きます。

次のような前兆現象に注意し、危険を感じたら速やかに避難しましょう!

前兆現象

- ❗ 小石がパラパラ落ちてくる
- ❗ かけから濁った水が出る
- ❗ 地下水や湧き水が止まる
- ❗ かけにひび割れができる

前兆現象

- ❗ 山鳴りがする
- ❗ 川の水が急に濁り流木が混ざりはじめる
- ❗ 雨が降り続いているのに川の水位が下がる

前兆現象

- ❗ 地面にひび割れができる
- ❗ 沢や井戸の水が濁りはじめる
- ❗ 池や沼の水量が急に変化する
- ❗ かけや斜面から水が噴き出す

土砂災害(特別)警戒区域

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

急傾斜地の崩壊や土石流等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命、または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域です。特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

急傾斜地の崩壊や土石流等が発生した場合に、住民等の生命、または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害警戒情報

大雨により、土砂災害の発生する危険性が非常に高くなったとき、静岡県と静岡地方気象台が共同で発表します。土砂災害警戒情報が発表されたときは、いつ土砂災害が起きててもおかしくない非常に危険な状態ですので、気象や雨量、土砂災害警戒区域の状況に注意し、**早めに避難してください**。

大雨特別警報

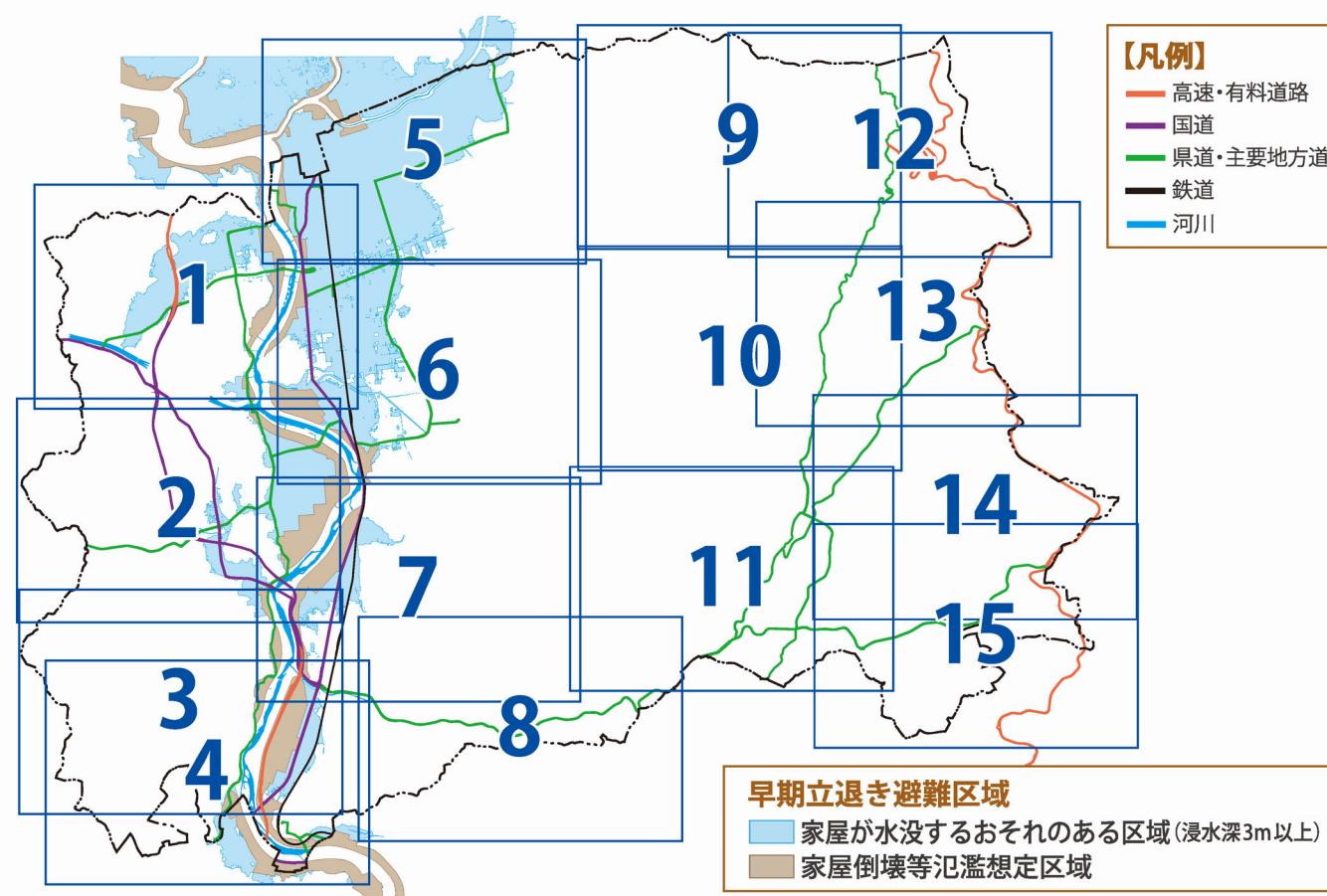
大雨特別警報が発表された場合、数十年に一度のこれまでに経験したことのないような、重大な危険が差し迫った異常な状況にあります。**ただちに命を守る行動**をとってください。

▶ 洪水・土砂災害ハザードマップ

この地図は、狩野川、来光川、柿沢川の各河川で想定最大規模の雨によりはん濫が発生した場合に想定される浸水の状況を示しています。また、土砂災害のおそれのある区域として、静岡県が指定している土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域を示しています。

なお、地図に示した箇所以外のところも、状況によっては洪水や土砂災害が発生することがありますので、注意してください。

1 堀之上、谷戸、仲之台、鳥打、珍野、町屋、大北、千代田、長塚	P13-14
2 古奈、天野、長岡、小坂、富士見、長瀬、戸沢、花坂	P15-16
3 吉田、中島、神島	P17-18
4 大仁、吉田、中島、神島、三福、田京	P19-20
5 山木、多田、奈古谷、大仙、長崎、原木、四日町、土手和田	P21-22
6 金谷、山木、四日町、寺家、中條、南條、中、内中、土手和田	P23-24
7 立花台、田京、御門、白山堂、守木、宗光寺、立花、星和	P25-26
8 三福、田京、田中山、下畑	P27-28
9 みどり、小松ヶ原別荘地、富士見ニュータウン	P29-30
10 高原、富士見ニュータウン、田中山、浮橋	P31-32
11 田中山、下畑、浮橋、田原野	P33-34
12 小松ヶ原別荘地	P35-36
13 浮橋	P37-38
14 浮橋、田原野、長者原	P39-40
15 田原野、長者原	P41-42



想定最大規模の雨量

狩野川
①大仁地点より上流：48時間総雨量 828mm
②徳倉地点より上流：48時間総雨量 746mm
③黒頬地点より上流：48時間総雨量 721mm
来光川
蛇ヶ橋地点より上流：48時間総雨量 847mm
柿沢川
蛇ヶ橋地点より上流：48時間総雨量 847mm